

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(4/7)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 (神奈川県等)	正	3.9	3.9  進捗度 ・医療・健康産業の創出に伴う経済波及効果 24%  ・医薬品・医療機器の臨床開始から上市までの期間短縮による経済効果 206%  ・次世代医薬品・医療機器の新規開発による経済効果 120%	3.9  規制の特例等 ・特定保健指導の機会を活用した、加工食品やサプリメント等の勸奨  等  財政支援等 ・設備等投資促進税制支援2件  等  地域独自の取組 ・神奈川県産業集積支援融資  等	4.0	<p>・医薬品・医療機器の開発費は増大しており、新規開発件数が減少しているのは、試作品まで辿りついていないからである。</p> <p>・健康産業の売り上げ、データベース事業関連収入の伸びについては、目標値に届かないものの推進されており、今後の事業展開が期待される。</p> <p>・いくつかの目標において進捗度が著しく低い。これらについて、目標設定の見直しが必要ではないか。</p> <p>・規制緩和、財政、金融等の施策も幅広く取り組まれているが、実績がなかなかついてこない部分がある。分野的には仕方がないものではあるかも知れないが、今後も引き続き努力願いたい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。